

CEED国際性啓発教育プログラム ～学生体験談～

◆ 本木 翔雲: 大学院工学院 環境フィールド工学専攻 修士課程

私は、高校で英語が得意科目でした。しかし、大学に入学してから留学生と交流して行くうちに、自分の英語が「使える英語」ではないと感じ、CEEDの英語講座を受け始めました。初めは、失敗を恐れ発言できず、疑問点は授業後に自分で調べていました。しかし、CEEDの先生方が、何度も「Don't hesitate to speak up!」と言ってくださり、質問にも丁寧に答えてくれたため、失敗に対する不安は無くなっていきました。そして、これは私の英語に対する自信にもつながりました。

実践科学技術英語の授業では、少人数での指導の中で、短期間で多くのアドバイスをいただきました。なかなか教わる機会のない英語での論文執筆やプレゼンの基礎を学ぶ機会は非常に貴重です。

将来は、「海外と日本の橋渡し役になれる人材」を目指しています。そのために、現在は、CEEDの授業に加え、e³学生として英語での研究活動、授業、修論執筆、また国際学会への参加や留学生サポートセンターでの勤務など、日常から英語漬けの日々を送っています。

英語に自信がある方もない方も、CEEDの授業を受ければ新たな世界が広がること間違いなしです。受けない理由はありません！



オランダ出張にて

* 受講講座: 実践科学技術英語

<Brush-Up英語講座> English Communication, English Discussion, English Writing Structure, Practical English for Engineers and Scientists, Practical English for Studying Abroad